2022 年度 事業報告書

【事業の概況】

(A) 助成公演事業

音楽を志す人々の活動を支援するために、青山音楽記念館 バロックザール を使用し、条件を満たした演奏会を開催される方に、ホール使用料の約 3 分の 2 を助成しています。

【実績】

2022 年度 46 公演 4,673,900 円（1 公演平均助成額 101,606 円）

※新型コロナウイルス感染症のため中止 4 公演 諸事情による延期及び中止 4 公演

参考：昨年度は 33 公演 3,236,100 円（1 公演平均助成額 98,060 円）※新型コロナ渦から回復基調

(B) 新人助成公演事業

青山音楽賞新人賞を希望する全ての人の金銭的な負担を軽減し、均等に演奏会開催の機会を持つことができるよう助成を行っています。ホール使用料や付帯設備使用料をはじめ、チラシやプログラムなど印刷費等を一定条件の下、財団が全額負担しています。

【実績】

2022 年度 11 公演 3,290,166 円（1 公演の平均助成額 299,106 円）

※新型コロナウイルス感染症のため延期及び中止 0 公演

参考：昨年度は 15 公演 4,623,715 円（1 公演の平均助成額 308,247 円）

(C) 顕彰事業

(1) 青山音楽賞（新人賞・青山賞・バロックザール賞の三賞の総称）。

財団が運営する青山音楽記念館 バロックザールで、毎年 1 月から 12 月までの期間に開催された公演の中から選考、個人又は団体に授与します。

<新人賞>

演奏会当日 26 歳未満（声楽は 29 歳未満）の方による、個人の独唱会・独奏会あるいは作曲作品発表会を対象に財団が選考し、2 名以内の受賞者を決定。各受賞者あたり、賞金 100 万円、音楽研修費 200 万円及び研修成果披露演奏会の開催費用として係る費用の助成（上限 50 万円）。

<青山賞>

演奏会当日 26 歳以上（声楽は 29 歳以上）の方による、個人の独唱会・独奏会あるいは作曲作品発表会を対象に財団が選考し、2 名以内の受賞者を決定。各受賞者あたり、賞金 150 万円及び受賞記念演奏会の開催費用として係る費用の助成（上限 50 万円）。

<バロックザール賞>

個人の独唱会・独奏会あるいは作曲作品発表会以外の演奏会を対象に財団が選考し、2 組以内の受賞者を決定。各受賞者あたり、賞金 200 万円及び受賞記念演奏会の開催費用として係る費用の助成（上限 50 万円）。

(2) 審査体制

青山音楽記念館 バロックザールで開催された公演で、音楽賞参加の申し込みのあった公演を対象に、各界より推薦された 27 名（内訳：審査委員 8 名、選考委員 19 名／2022 年度末現在）の審査選考委員が原則として直接来館し、該当する演奏会を聴き、各選考委員が音楽賞候補者を推薦。その結果を基に審査委員会で審議して受賞者を選出し、理事会の承認を経て受賞条件の一つである授賞式の出席を確認した後、受賞者を決定します。

(3) 青山音楽賞授賞式

2023 年 3 月 4 日（土）青山音楽記念館に於いて「2022 年度 第 32 回青山音楽賞授賞式」を実施。贈賞式後、受賞者が演奏を披露。

(4) 2022年度 第32回 青山音楽賞 受賞者

<新人賞>本年度は2名を選出

山根風仁 (ヒストリカル・チェロ)

受賞公演: 2022年7月21日(木) 『山根風仁 J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲 全曲 京都公演』

若尾圭良 (ヴァイオリン)

受賞公演: 2022年12月2日(金) 『若尾圭良 ヴァイオリンリサイタル』

<青山賞>本年度は2名を選出

酒井健治 (作曲)

受賞公演: 2022年11月12日(土) 『酒井健治 個展 2022』

入川 舜 (ピアノ)

受賞公演: 2022年12月16日(金) 『入川 舜 ピアノリサイタル』

<バロックザール賞>本年度は1組を選出

長山恵理子 (ヴァイオリン)&ミハイイ・ベレッツ (ピアノ) デュオ

受賞公演: 2022年11月26日(土) 『長山恵理子&ミハイイ・ベレッツ デュオリサイタル』

(5) 青山音楽賞 受賞記念演奏会/研修成果披露演奏会

【開催実績】

受賞記念演奏会

2022年10月22日(土) 『小島燎・久末航 デュオリサイタル』

(2019年度バロックザール賞受賞)

2022年11月3日(木・祝) 『アレクサンダー・ボルダチョフ ハープリサイタル』

(2018年度青山賞受賞)

2022年12月23日(金) 『豊嶋泰嗣 デュオとトリオの愉しみ』

(2019年度青山賞受賞)

2023年2月12日(日) 『Yugen Trio』

(2019年度バロックザール賞受賞)

2023年2月26日(日) 『石上真由子 ヴァイオリンリサイタル』

(2019年度青山賞受賞)

2023年3月24日(金) 『山本由美子 ヴィオラリサイタル』

(2021年度青山賞受賞)

研修成果披露演奏会

2022年9月24日(土) 『小林壱成 ヴァイオリンリサイタル』

(2018年度新人賞受賞)

2023年1月14日(土) 『黒岩航紀 ピアノリサイタル』

(2017年度新人賞受賞)

2023年3月21日(火・祝) 『崎谷明弘 ピアノリサイタル』

(2013年度新人賞受賞)

(6) 音楽研修

【実施実績】

今岡秀輝 (ヴァイオリン・2019年度 新人賞受賞)

研修内容: 技術向上のための個人レッスンの受講 (オーストリア・ウィーン) と
オーディション参加準備。

研修期間: 2022年12月27日~2023年3月7日

荒井優利奈 (ヴァイオリン・2021年度 新人賞受賞)

研修内容：ウィーン国立音楽大学（オーストリア）での研修と国際コンクールへの参加。

研修期間：2022年10月1日～2023年9月30日

水野優也（チェロ・2021年度新人賞受賞）

研修内容：ザルツブルク・モーツァルテウム大学（オーストリア）での研修。

研修期間：2022年10月1日～2024年6月30日

(D) 貸ホール事業

音楽ホールの利用は助成公演が大半を占めますが、助成公演以外に、一般公演、音楽諸団体の発表会やリハーサルでの貸出を行なっています。なお、音楽目的以外の貸出しは行っておりません。

【稼働実績】

ホール：総稼働日数 101日 (昨年度は78日)

2022年度 ホール使用内訳

種別	利用日数
ホールリハーサル	11
一般公演	4
共催公演	1
新人研修成果披露演奏会	3
主催公演	9
受賞記念演奏会	6
授賞式	1
助成公演	46
奨学生成果披露演奏会	3
新人助成	11
発表会	6
総計	101

(E) 主催公演事業

主催公演は、国内外の一流演奏家による演奏会とし、日本におけるクラシック音楽文化の発展と、聴衆の育成に貢献できる事業、一方で共催公演は音楽を学ぶ学生及び生徒の育成に貢献できる事業です。

(a) 主催公演

【実績】

2022年

5月28日（土）『高木和弘&ヴィッレ・ヒルトウラ クラシック meets タンゴ』

7月6日（水）『エマニュエル・パユ&安楽真理子 デュオ』

9月17日（土）『上原彩子 ピアノリサイタル』

10月9日（日）『アントワン・タメスティ&鈴木優人 デュオリサイタル』

11月6日（日）『マリオ・ブルネロ 無伴奏チェロリサイタル』

11月19日(土) 『アレクサンダー・ガジェヴ ピアノリサイタル』
12月1日(木) 『庄司紗矢香&ジャンルカ・カシオーリ デュオリサイタル』

2023年

2月5日(日) 『鈴木優人 チェンバロリサイタルⅡ』
2月18日(土) 『ユリアーナ・アヴデーエワ ピアノリサイタル』

※主催公演の入場料は5,000円(全席指定)

※当日券が販売される場合に限り学生証の提示で1,500円で入場できることとしております。

(b) 共催公演

常務理事会の決定により、ホール使用料等の演奏会開催経費を財団が負担する公演。

【実績】

2023年2月23日(木・祝) 『京都市立京都堀川音楽高等学校 第17回ピアノコンサート』
(共催：京都市立京都堀川音楽高等学校／公益財団法人青山音楽財団)

(F) 育成支援事業

大学の音楽学部、高校の音楽科及びその他の音楽教育機関等に対する支援を行います。

(a) 奨学金事業

【事業内容】

音楽大学又は音楽学部等に在籍している優秀な大学生(1年生～4年生)に関して、奨学金をもって支援を行います。

【選考方法】

毎年1回、音楽学部のある大学の中から財団の理事会において指定校11大学を決定し、指定校に対して募集要項等を配付して公募を行います。指定校は、学内選考により推薦者を決定し、当該学生の推薦書・願書等を財団へ提出。財団の奨学金規程に基づき、学識経験者を含む当財団の育成支援事業選考委員会の審議を経て、理事会が決定。

【指定校】

音楽教育では日本をリードする音楽学部のある国公立大学4校、及び私立大学より7校を指定。私立大学については、レベルの保持のために、過去に財団の青山音楽賞の受賞者を輩出した大学等を指定。

【支給対象者及び支給額】

支給対象者(人数) ...音楽大学又は音楽学部等に在籍している大学生 45名程度／1年
支給額...年間60万円(月額5万円)／1名

【給付方法】

原則として1名に対する支給期間は1年とするが、最長4年まで継続可

【成果発表】

奨学金支給学生は奨学金支給終了時に特別の事情がない限り、財団の指定する時期に、青山音楽記念館 バロックザールで開催する奨学生成果披露演奏会で発表を行います。

【実績】

本年度は、東京藝術大学、東京音楽大学、桐朋学園大学、国立音楽大学、武蔵野音楽大学、愛知県立芸術大学、京都市立芸術大学、同志社女子大学、大阪音楽大学、相愛大学、沖縄県立芸術大学を指定しました。各大学に奨学生募集要項と応募書類様式を送付し、学内での公募を経て極めて優秀な学生を学内オーディションや教授会等にて選考。2022年4月1日～5月6日までを申請受付期間とし、各大学から奨学生を推薦いただきました。2022年5月19日に当財団の育成支援事業選考委員会における審議を経て、2022年6月9日の理事会にて合計45名の奨学生を決定しました。

(内訳)

- ・東京藝術大学 15名
(声楽3名、ピアノ2名、オルガン1名、弦楽器3名、管楽器3名、邦楽2名、作曲1名)
- ・東京音楽大学 2名 (声楽1名、ピアノ1名)
- ・桐朋学園大学 4名 (ピアノ2名、弦楽器2名)
- ・国立音楽大学 1名 (作曲1名)
- ・武蔵野音楽大学 1名 (声楽1名)
- ・愛知県立芸術大学 4名 (ピアノ1名、弦楽器1名、管楽器1名、作曲1名)
- ・京都市立芸術大学 9名 (声楽2名、ピアノ2名、弦楽器2名、管楽器2名、音楽学1名)
- ・同志社女子大学 1名 (管楽器1名)
- ・大阪音楽大学 2名 (声楽1名、打楽器1名)
- ・相愛大学 4名 (声楽1名、弦楽器2名、管楽器1名)
- ・沖縄県立芸術大学 2名 (ピアノ1名、管楽器1名)

また、奨学生 45名の一年間の成果発表の場として、当財団の主催公演「第10回 奨学生成果披露演奏会～若き音楽家たちによる音の祭典～」を2023年3月11日(土)、3月12日(日)、3月19日(日)に、青山音楽記念館 バロックザールにて入場料無料で実施しました。

※交通事故の負傷により1名が出演を辞退しました。

(b) 学校等支援事業

【事業内容】

大学の音楽学部、高校の音楽科及びその他の音楽教育機関等に対し、学生・生徒等がより充実した音楽活動を行いやすい環境をつくるための支援事業を行います。

【選考方法】

毎年1回、チラシ・ホームページ等で、大学の音楽学部、高校の音楽科及びその他の音楽教育機関等に対して音楽支援希望を公募。応募団体等に対して財団指定の申請書の提出を求め、当財団の育成支援事業選考委員会の審議を経て、理事会にて決定。

【支援内容】

年間総額 300万円以内で支援を行います。

【報告】

実施事業の報告書を、事業終了後1ヶ月以内に提出いただきます。

【実績】

2022年度第11回学校等支援事業は、2022年4月1日から2023年3月31日に実施される事業を対象に出願期間を2021年11月1日から11月30日とし、チラシ・ホームページ等で公募。2021年12月16日に当財団の育成支援事業選考委員会にて審議し、2022年1月24日の理事会にて下記の5件を決定。

	団体名	内容	種別	支援金支払額 (単位：円)
1	公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団	第18回京都市ジュニアオーケストラコンサート	公演	¥400,000
2	鹿児島県立松陽高等学校	コンサートバスドラム/レフイーマ LF-BD36S 購入	備品購入	¥500,000
3	プロジェクトQ実行委員会	プロジェクトQ・第20章～若いクァルテット、ハイド	公演	¥500,000

		ンに挑戦する～		
4	関西の音楽大学オーケストラフェスティバル IN 京都コンサートホール実行委員会	第 11 回 関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール	公演	¥400,000
5	公立大学法人京都市立芸術大学	オケパート譜&フルスコア (モーツァルト : Sym # 39 ほか) 購入	備品購入	¥1,200,000
			支援金支払 合計	¥3,000,000

2 会議に関する事項

1) 理事会

第 68 回理事会 2022 年 6 月 9 日開催

第 69 回理事会 2022 年 9 月 16 日開催

第 70 回理事会 2022 年 11 月 2 日開催

第 71 回理事会 2023 年 1 月 23 日開催

第 72 回理事会 2023 年 2 月 10 日開催

第 73 回理事会 2023 年 3 月 17 日開催

2) 評議員会

第 27 回評議員会 2022 年 6 月 24 日開催

<事業報告の附属明細書>

2022 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。